

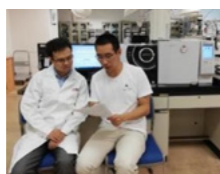
価値共感×共創ストーリー

共感×共創のビジネスモデル

中国

中国科学院 (北京市、遼寧省)

2020年6月：協力協定を締結。技術考古学的及び文化財保護における古墳出土の疑似酒様、陶器残留物など、幅広い分野で学術論文を発表



2020年9月：生態環境研究中心と包括的な共同研究契約を締結し、「環境と健康イノベーションセンター」を設立。環境重金属オンライン濃縮及び分析システム(SPE-LC-ICP-MS分析システム)を共同開発

2021年10月：「大連化学物理研究所-島津オミックス研究創新実験室」を設立。2023年10月に「島津合作論文100報成果集」を発表

大連理工大学 (遼寧省)

2021年5月：SPM多作動モードで金属合金材料の研究開発を進め、2023年8月までに8編の共同研究の成果を発表

清華大学建築学院 (北京市)

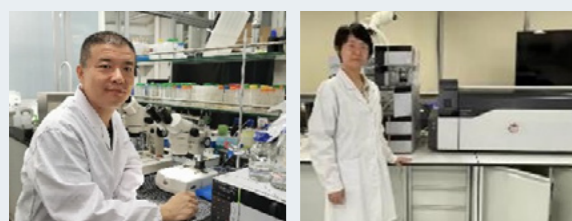
2020年8月：新版GB/T 18883-2022「室内空気品質基準」を共同で完成。室内空気中でよく見られるVOCsのデータベースを構築

北京大学 (北京市)

2022年3月：ナノテクノロジーの薬物伝達分野への応用により、新しい形の医薬品を創出することに期待

華南理工大学、アモイ大学 (広東省)

2020年6月：全スペクトル二次元液質併用システム(中国発明特許)を共同開発。この技術に基づいて、非標的代謝群学高分解データベース、標的代謝群学MRMデータベースを構築



北京工商大学 (北京市)

2022年3月：乳製品の特徴的な風味物質を分析する共同研究を行い、品質評価のための分析法の確立を目指す

天津大学 (天津市)

2022年3月：共同実験室を設立。炭素中和研究を目標とし、反応メカニズム、触媒設計などの研究活動を展開

中国薬科大学 (江蘇省)

2020年1月：2003年に設立した共同研究所にて、薬物代謝研究を行い、学術論文を発表

四川大学 (四川省)

2021年1月：口腔材料などの研究に対する走査型プローブ顕微鏡の応用方法を共同開発

武漢大学 (湖北省)

2023年1月：2009年に島津-武漢大学協力実験室を設立。LCMSを用いて植物ホルモン、代謝グループ学、核酸分野で百篇近くの研究論文を発表。その成果を「植物ホルモンデータベース」と「植物ホルモン分析測定解決案」に転化

浙江大学 (浙江省)

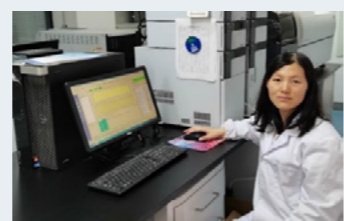
2020年3月：「浙江大学創新薬物研究センター—島津連合実験室」を設立。新薬開発に関する学術論文を発表

清華大学深セン国際大学院 (広東省)

2020年2月：水中の101種類の医薬品・生活関連物質の検出・分析方法を共同で開発し、データライブラリを作成

西安交通大学 (陝西省)

2022年6月：共同研究と成果を通じて、先進的な科学技術の応用によるアレルギー性疾患の予防と制御を推進。「液体クロマトグラフィー-タンデム質量分析法に基づくアレルギー類アレルギー反応の無標識定量評価方法」を発表



アジア

①ソマイヤ・ヴィディヤヴィハール大学 (インド)

2022年12月：分析・測定科学センターの設立に関するMOUを締結。より持続可能な未来を創造するためのグリーンエネルギーやその他の重要な分野における研究と応用開発を促進し、新世代の科学者の育成を支援し、業界専門家向けのスキルと知識のアップグレードプログラムを実施



ガスクロマトグラフ Bravis GC-2050

トリプル四重極型ガスクロマトグラフ質量分析システム GCMS-QP8050NX

②KMUTT-BARAワクチン特性研究センター (タイ)

2023年11月：ASEAN初のバイオ医薬品特性評価研究所を設立



④チャンギ総合病院 (シンガポール)

2021年1月：チャンギ総合病院 (CGH) のサテライト臨床検査室として島津製作所-CGHクリノミクスセンター (SC³) を開設。最先端の質量分析技術を備え、高血圧やその他の慢性疾患の患者により良い臨床ケアを提供するために、診断精度を向上させる臨床アプリケーションを開発



2022年12月：LC-MS/MSによる臨床検査技術の開発と妥当性評価に取り組み、治療可能な高血圧症の一種である原発性アルドステロン症の患者を特定する検査手法を開発し、CGHがシンガポール保健省より臨床サービスライセンスを取得。2023年2月から血液検査による高血圧症の診断支援事業を開始した

⑤サンアグスティン大学 (フィリピン)

2021年11月：自然創薬の共同研究を開始

⑥ブラウィジャヤ大学 (インドネシア)

2023年5月：「世界のハラールエコシステムの発展」を中心に展開し、ハラール認証技術、人工知能(AI)、デジタル技術の探求に焦点を当てた「第1回アジアハラールサミット2023」を開催(本書P.28参照)



③シンガポール工科大学 (シンガポール)

2021年12月：2018年にSMARTLabを設立。次世代のラボ技術者が、インダストリー4.0とシンガポールの製造環境に備えるための一連の最新スキルを身に付けられる体制を整備

